

新規O血清群 *Aeromonas hydrophila* 感染による腸炎の3歳幼児例

◇ 頻回の水様下痢、粘血便を呈した感染性腸炎の3歳幼児例において原因菌を検索した結果、新規O血清群 *Aeromonas hydrophila* (エロモナス・ハイドロフィラ) [O 101] が同定されたので、第114回日本小児科学会学術集会(2011年8月、東京)で報告しました。

◇ 臨床例について、国立感染症研究所(細菌第一部 荒川英二先生)と連携した成果です。

感染源：自宅で大型観葉植物を栽培していた瓶に、家族が金魚を入れた。ここで遊んでいた患児が瓶の水を口に入れた接触感染と考えられました。



◇ “井の中の蛙”に陥らない診療姿勢からの発見でした。それは、一人ひとりを大切にした診療姿勢の成果といえます。

地域医療「地域に根ざした医療」からは、大切な発見・全国発信の機会があります。

生活者の幸せを担う地域医療の実践を誇りとして

国民健康保険智頭病院

〒689-1402 鳥取県智頭町 TEL.0858-75-3211

研修で来院する学生向け資料です。

鳥取県国保地域医療学会でも使いました。

第31回鳥取県小児保健協会 研修会
「過疎地病院における小児医療の実践」
配布資料=8=